



いわき市立大野中学校

学校だより 第2号

令和 2年 6月10日(水)
発行責任者：校長 田中 淳一
TEL：0246-33-2233

教育目標：自立と貢献（リーダーシップとフォロワーシップを身に付けた生徒の育成）
育成を目指す資質・能力：自己マネジメント力×協働する力×探究する力

学校再開にあたって

新型コロナウイルス感染症予防のため、学校の臨時休業を行ってまいりましたが、5月末からの段階的な学校再開を経て、6月1日から通常の日課で、教育活動を再開しました。学校を再開するにあたっては、生徒や教職員等の感染リスクを可能な限り低減することが必要なため、「学校の新しい生活様式」（5月に文科省より示された衛生管理マニュアル）を踏まえた感染症対策に努めていきます。



長期間の臨時休業は、「学校の役割」「学校の存在意義」を私たちに改めて問いかけました。学校に行かなくても、情報機器を活用すれば様々な学習が可能である現代において、「学校の果たすべき役割とは何か。」を考えさせられます。2011年に起きた東日本大震災の後にも、同じ問いが学校に突き付けられたことを思い出します。「これで学校の在り方も変わるだろう。」と信じていたのですが、実際にはあまり変わっていないように思います。環境が激変し、新しい環境への適応が求められても、「変わりたくない」と強く念じれば、人間は変わらないものです。しかしながら、生物の歴史が教えるのは、環境変化への適応を拒んだ生き物の運命は、あまりはかばかしいものではないということです。私たちには、学校教育の強みを絶えず検証しながら、感染症や自然災害等の高いリスクがある中、人口減少や高齢化などの現実課題と向き合いながら生きていく子どもたちに、必要となる資質・能力とは何かを見定め、育む責任があると考えています。

再開した授業では、生徒も教師も「学ぶ楽しさ」を実感できるように努めるとともに、本校の目指す資質・能力（自己マネジメント力×協働する力×探究する力）を確かに育むことができるような学校経営・運営を行ってまいります。



市中体連の開催にむけて

6月からの学校再開に合わせて、部活動も段階的に再開しました。部活動においても、「新型コロナウイルス感染防止のための部活動方針」を定めて、慎重に進めていきます。また、いわき市中学校体育大会（市中体連）が、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、次のとおり開催される運びとなりました。なお、今後も、新型コロナウイルス感染状況を注視しながら、大会開催の可否を判断していきます。

- 野球・・・・・・・・・・・・ 7/29（水）、8/3（月）、8/5（水）～8/7（金）
- バドミントン・・・・・・・・ 7/30（木）～7/31（金）、8/3（月）
- バスケットボール・・・・ 8/10（月）～8/12（水）
- ソフトテニス・・・・・・・・ 8/5（水）～8/7（金）、8/9（日）



